

職人の技を伝える交流館がオープン



10月1日、岩村町本町に岩村上町まちなか交流館がオープンしました。この交流館は、職人の町であった上町で継承されてきた竹細工や木工などの技を、次世代へ伝えるため、地域住民の交流の拠点として活躍します。

手造り公共事業でコンクリートの重さを実感



10月4日に東野で手造り公共事業が行われました。平成15年度から続く同事業は、恵那農業高等学校とえな土地改良区との協働事業。この日は、地元の方も加わり、延長145mの農道の舗装作業に汗を流しました。

黄金色の坂折棚田で稲刈り体験



中野方小学校の5、6年生22人が、9月27日、坂折棚田で稲刈りを体験しました。この日の目標は、稲を1本1本大切に刈ること。児童たちは、鎌で1束ずつ丁寧に刈り取り、「疲れたけど楽しかった」とニコリ。

時代絵巻行列が厳かに練り歩く



爽やかな秋晴れとなった10月1日と2日の二日間、神輿渡御行列が岩村町本通りで行われました。数百名にも及ぶ行列は、県重要無形民俗文化財。約300人が平安朝期の古式豊かな衣装を身にまとって練り歩きました。



人とまち
恵那の今を
お届けします



自然の恵みや間伐の大切さを体感
10月13日に、保古の湖がある根の上高原で、武並小学校4年生42人を対象に、森林教室が開かれました。この日は、身近な木々への愛着と自然を愛する気持ちを育むため、森林インストラクターの赤尾さんから森の楽しさについて学びました。NPO法人「水とみどりを愛する会」が主催する間伐体験で、児童たちは、のこぎりを使ってヒノキを間伐。実際に木を切ることで、間伐作業など、自然を守ることの大変さを体感しました。

募集中

12月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、両親の氏名、30字以内のコメントを添えて、11月15日(火)までに申し込んでください。またケーブルテレビ放映の可否についてもご記入ください。申し込み多数の場合は先着順により掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要)
企画課広報広聴係
☎26-2111(内線319)

洋行さん・路子さん
いつも笑顔で幸せを運んでくれる駿。元気に育ってね。

岩村町

嘉孝さん・利恵さん
家族のアイドルゆず君♡夢いっぱい元気な子に育ってね☆

三郷町

信彦さん・なぎささん
生まれて来てくれてありがとう。みんな待っていました♡

大井町

雄城さん・亜矢子さん
お姉ちゃん、お兄ちゃんと仲良く元気に大きくなってね。

岩村町

貴大さん・あずささん
誕生日おめでとう♡いつも笑顔でかわいいうちが大好きだよ♡

大井町

亮佑さん・恵実さん
すてきな笑顔がありとうとう優しく元気に育ってね。ゆう君大好き♡

大井町

公雄さん・朱生さん
一歳おめでとう。元気にすくすく育ってね。

大井町

直人さん・緑さん
一歳の誕生日おめでとう！かわいい笑顔にいつも癒やされているよ。

上矢作町

鉄兵さん・靖江さん
家族みんな仲良く、元気に成長していこう!!

中野方町

尚範さん・百合さん
一歳の誕生日おめでとう！みんなと一緒にスクスク育ってね!!

武並町

繁寿さん・茂実さん
元気いっぱい慶吾♡お兄ちゃんたちと仲良く健康に育ってね!!

長島町

高孝さん・裕己さん
やんちゃ坊主のうま☆一歳おめでとう♡12月から保育園頑張ろうね☆

武並町

HAPPY BIRTHDAY
えなの子 笑顔!
11月生まれのお誕生日
おめでとう!

1歳になりました



輝く 85
 岩村町領家
 三宅将督君 15歳



全中通信陸上走り幅跳びで優勝 自己記録を大幅に更新

中津川ジュニア陸上クラブに所属する岩村中学校3年生の三宅将督君が、第57回全日本中学校通信陸上競技大会の男子走り幅跳びで優勝した。

三宅君は、7月に開催された同県大会で、6歳82センチの跳躍で優勝。集計の結果、全国で第1位となった。中学2年生の中体連東濃大会の競技中に左足首を骨折。約半年間、練習もできずつらい思いをしてきた。残り2本となった8回目の跳躍で「6歳後半の記録を出すんだ」と自らを鼓舞して助走を開始。大きな跳躍ができた。しかし踏み切りがファールかもしれないと戸惑っていた。白旗が上がリ、記録は自己ベストを30センチ以上も更新。とてもうれしく、思わず拳を握りしめた。

走ることが好きだった三宅君は、小学5年生のときに友達と誘い合っ

て岩村ジュニア陸上クラブへ入った。6年生になると中津川ジュニアクラブから誘われ、100歳と幅跳びの練習をするようになった。

週に4回ほどクラブに通い、1日2時間半、主に100歳を練習する。ハードルなどを使い、走る動きづくりなどを行う。幅跳びは、試合の1週間前から踏み切りの足合わせや踏み切り動作の確認をしている。雨の日も「筋トレなど、できることをする」とこつこつ努力している。

三宅君は「練習時は夏でも体を冷やさない、歩く姿勢を意識して靴を引きずらないように歩く」と普段から細かな気配りもしている。「自分の記録が伸びる楽しみや、人と競う面白さがある」と陸上の魅力を話す。「何事も諦めないことや、こつこつと積み上げていく大切さ」を陸上を通じて学んだ。「自分の長所が増え、いろんな地域に友達ができた」と陸上との出会いに感謝する。

将来の目標を尋ねると「勉強と陸上を両立し、スポーツに関係する仕事に就けるよう努力を積み重ねていきたい」と語った。

※全日本中学校通信陸上競技大会=日本陸上競技連盟と日本中学校体育連盟、各都道府県の陸上競技協会、中学校体育連盟が主催する中学生の陸上競技大会。各都道府県ごとに行われる大会の結果を集計し、種目ごとに全国の順位を付ける

第10回記念の筑前琵琶演奏会が開催



中山道ひし屋資料館で秋月の宵筑前琵琶演奏会が10月11日に開催。112人が田中旭泉さんの演奏を傾聴しました。田中さんは、10年間で振り返り感謝するとともに「恵那の文化のために力になりたい」と語りました。

市民三学自主企画講座で簡単会席を学ぶ



笠置コミセンで、10月13日、化学調味料や動物性の材料を使わず、地元産の食材で調理する「マクロビोटニックで簡単会席」の講座が開催。参加した20人は、穀物や野菜、海藻を中心とした調理法を学びました。

串原の里に勇壮な中山太鼓が響き渡った



県重要無形民俗文化財の中山太鼓が、10月16日に串原の中山神社に奉納されました。すりこぎ状のばちを持った参加者が、踊りながら代わる代わる力一杯太鼓を打ち鳴らすと、周囲の観客も熱気に包まれました。

モンゴルの学生と上矢作中生が文化交流



10月6日、上矢作中学校で全校生徒46人とモンゴル国の学生が交流し、親睦を深めました。生徒たちは、8人の学生たちを拍手で歓迎。4月から全校生徒で歌っている「この星に生まれて」の合唱を披露しました。

体験学習で感じた「働くことは大変なこと」



10月12日から3日間、明智中学校2年生58人は、町内の事業所18カ所で職場体験をしました。「働くことは大変で努力が必要」などと実感。この活動で生徒たちは、職業観や勤労観を高めしっかりと進路を考えます。

吉田保育園児が夢中でサツマイモを掘ったよ



吉田保育園の3歳から5歳の園児27人が、10月13日、サツマイモ掘りをしました。町内の約40平方メートルの畑では、園児たちが夢中になって芋掘り。収穫したサツマイモは、焼き芋やスイートポテトにして食べる予定です。